2020 年 6 月 26 日
原子力エネルギー協議会

web 会議に対する事業者意見の集約結果について

今後も web 形式による審査会合、ヒアリング等を継続していただきたい。なお、web 形式と対面形式には、それぞれメリットがあることから、どちらかを選択できるようにしていただきたい。

（web 形式のメリット）
・移動時間を削減できる。
・根拠となるデータ等のすみやかな確認が容易となる。
・発電所の人間が参加しやすくなり、現場の詳細な運用等の質問にタイムリーに回答できる。

（対面形式のメリット）
・複雑な内容の説明や確認において、発言の細かいニュアンスが伝わりやすい。
・特重関係等、情報管理が必要な場合に有効。

【web 会議の準備、設備等】
・現状通り、音響（ハウリングの有無）、視野角の確認等は引き続き実施させていただきたい。
・Webex を基本としつつ、他の方法（Skype 等）についてもご検討いただきたい。

【web 会議中】
・通信状態が不安定な場合あり。
・通信状態を踏まえ、映像を OFF（音声のみ）とすることもあり。
・図面を多く用いる場合等は、ニュアンスなどが伝わりづらい場合もあり。
・表情、仕草等を確認できないため、当社の説明がご理解いただけているかどうかといった雰囲気を判別できないが、必要な意思疎通は図れていると考えている。

以上